

Q001 基本技術 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、明確な言葉かけの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 曖昧な発言を具体的に確認し、意味をはっきりさせること。
- B. 短く具体的に、相手が理解しやすい表現を使うこと。
- C. 電子記録や連絡ツールを活用し、必要な情報を適切に共有すること。
- D. 家族の不安を受け止めつつ、本人の意思と個人情報保護にも配慮すること。

答え・解説

正答：B. 短く具体的に、相手が理解しやすい表現を使うこと。

超簡単な解説：明確な言葉かけは、短く具体的に、相手が理解しやすい表現を使うこと。

Q002 基本技術 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者と、ペーシングを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 返答に時間がかかる人には、急かさず待つ。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 『退院後の生活が心配なのですね』と感情を返す。
- D. 『つまり、夜間のトイレが不安なのですね』と確認する。

答え・解説

正答：A. 返答に時間がかかる人には、急かさず待つ。

超簡単な解説：ペーシングでは、返答に時間がかかる人には、急かさず待つ。この対応が適切である。

Q003 支援技術 | 4択 | 標準

問題

介護実践でリフレーミングを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 否定的な自己認識を和らげ、意欲を支えられるため。
- B. 聞き取りにくさは誤解や孤立につながるため。
- C. 相手が自分の感情を整理しやすくなるため。
- D. 情報量が多いと混乱し、不安や拒否につながりやすいため。

答え・解説

正答：A. 否定的な自己認識を和らげ、意欲を支えられるため。

超簡単な解説：リフレーミングを重視する理由は、否定的な自己認識を和らげ、意欲を支えられるため。

Q004 面接技術 | 4択 | 応用

問題

Dさんは要約に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、『つまり、夜間のトイレが不安なのですね』と確認する。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、『つまり、夜間のトイレが不安なのですね』と確認する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、要約の観点から本人中心に対応する。

Q005 面接技術 | 4択 | 標準

問題

明確化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 『痛い』と言われたら、部位・程度・いつからかを確認する。
- C. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：C. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：明確化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q006 面接技術 | 4択 | 標準

問題

反映に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- D. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q007 障害特性 | 4択 | 基礎

問題

失語症への対応に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q008 障害特性 | 4択 | 応用

問題

難聴への対応を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q009 障害特性 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、視覚障害への対応の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 聞こえにくさに配慮し、視覚情報や環境調整を行うこと。
- B. 曖昧な発言を具体的に確認し、意味をはっきりさせること。
- C. 見えにくさに配慮し、声かけ、環境説明、触覚情報を活用すること。
- D. 言語・文化・宗教・生活習慣の違いを尊重して意思疎通を図ること。

答え・解説

正答：C. 見えにくさに配慮し、声かけ、環境説明、触覚情報を活用すること。

超簡単な解説：視覚障害への対応は、見えにくさに配慮し、声かけ、環境説明、触覚情報を活用すること。

Q010 認知症 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、認知症の人への声かけを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 一度に多くを説明せず、目線を合わせて一つずつ伝える。
- B. 『退院後の生活が心配なのですね』と感情を返す。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 介助前に名乗り、周囲の状況や移動先を具体的に説明する。

答え・解説

正答：A. 一度に多くを説明せず、目線を合わせて一つずつ伝える。

超簡単な解説：認知症の人への声かけでは、一度に多くを説明せず、目線を合わせて一つずつ伝える。この対応が適切である。

Q011 多文化 | 4択 | 標準

問題

介護実践で外国人利用者への配慮を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人が不安を訴えても、支援計画を変更してはならないため。
- B. 文化差を無視すると誤解や不安につながるため。
- C. 否定的な自己認識を和らげ、意欲を支えられるため。
- D. 安全確認は医療職だけが行うため。

答え・解説

正答：B. 文化差を無視すると誤解や不安につながるため。

超簡単な解説：外国人利用者への配慮を重視する理由は、文化差を無視すると誤解や不安につながるため。

Q012 連携 | 4択 | 応用

問題

Fさんは家族とのコミュニケーションに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 本人の訴えを受け止め、家族の訴えを記録し、本人の意向も確認してチームで共有する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、家族の訴えを記録し、本人の意向も確認してチームで共有する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、家族とのコミュニケーションの観点から本人中心に対応する。

Q013 連携 | 4択 | 標準

問題

チーム内コミュニケーションの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- D. 申し送りでは観察事実と対応結果を分けて伝える。

答え・解説

正答：C. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：チーム内コミュニケーションでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q014 連携 | 4択 | 標準

問題

ICTを用いた情報共有に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q015 基本技術 | 4択 | 応用

問題

明確な言葉かけを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q016 基本技術 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、ペーシングの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 言語理解や表出に障害がある人に、絵・文字・ジェスチャー等を組み合わせて支援すること。
- B. 相手の話す速さ、理解の速さ、気持ちの状態に合わせること。
- C. 家族の不安を受け止めつつ、本人の意思と個人情報保護にも配慮すること。
- D. 見えにくさに配慮し、声かけ、環境説明、触覚情報を活用すること。

答え・解説

正答：B. 相手の話す速さ、理解の速さ、気持ちの状態に合わせること。

超簡単な解説：ペーシングは、相手の話す速さ、理解の速さ、気持ちの状態に合わせること。

Q017 支援技術 | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、リフレーミングを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 『時間がかかる』を『丁寧に確認できている』と捉え直して伝える。
- B. 家族の訴えを記録し、本人の意向も確認してチームで共有する。
- C. 入力内容は客観的にし、個人情報の閲覧権限に注意する。
- D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

答え・解説

正答：A. 『時間がかかる』を『丁寧に確認できている』と捉え直して伝える。

超簡単な解説：リフレーミングでは、『時間がかかる』を『丁寧に確認できている』と捉え直して伝える。この対応が適切である。

Q018 面接技術 | 4択 | 標準

問題

介護実践で要約を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 否定的な自己認識を和らげ、意欲を支えられるため。
- B. 家族の希望は常に本人の意思より優先されるため。
- C. 相手のペースを尊重することで安心して意思表示しやすくなるため。
- D. 理解のずれを防ぎ、話を整理できるため。

答え・解説

正答：D. 理解のずれを防ぎ、話を整理できるため。

超簡単な解説：要約を重視する理由は、理解のずれを防ぎ、話を整理できるため。

Q019 面接技術 | 4択 | 応用

問題

Aさんは明確化に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、『痛い』と言われたら、部位・程度・いつからかを確認する。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、『痛い』と言われたら、部位・程度・いつからかを確認する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、明確化の観点から本人中心に対応する。

Q020 面接技術 | 4択 | 標準

問題

反映の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 『退院後の生活が心配なのですね』と感情を返す。
- D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

答え・解説

正答：D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：反映では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q021 障害特性 | 4択 | 標準

問題

失語症への対応に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q022 障害特性 | 4択 | 基礎

問題

難聴への対応に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q023 障害特性 | 4択 | 応用

問題

視覚障害への対応を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業負担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q024 認知症 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、認知症の人への声かけの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 聞こえにくさに配慮し、視覚情報や環境調整を行うこと。
- B. 物事の見方を変え、強みや可能性に目を向ける関わり。
- C. 職員間で事実、判断、対応を正確に共有すること。
- D. 理解しやすい短い言葉と安心できる態度で関わること。

答え・解説

正答：D. 理解しやすい短い言葉と安心できる態度で関わること。

超簡単な解説：認知症の人への声かけは、理解しやすい短い言葉と安心できる態度で関わること。

Q025 多文化 | 4択 | 標準

問題

通所介護を利用する高齢者で、外国人利用者への配慮を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 『退院後の生活が心配なのですね』と感情を返す。
- B. 『つまり、夜間のトイレが不安なのですね』と確認する。
- C. やさしい日本語、絵、翻訳ツールを使い、理解を確認する。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：C. やさしい日本語、絵、翻訳ツールを使い、理解を確認する。

超簡単な解説：外国人利用者への配慮では、やさしい日本語、絵、翻訳ツールを使い、理解を確認する。この対応が適切である。

Q026 連携 | 4択 | 標準

問題

介護実践で家族とのコミュニケーションを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 相手が自分の感情を整理しやすくなるため。
- B. 文化差を無視すると誤解や不安につながるため。
- C. 相手のペースを尊重することで安心して意思表示しやすくなるため。
- D. 家族支援と本人の権利擁護を両立させる必要があるため。

答え・解説

正答：D. 家族支援と本人の権利擁護を両立させる必要があるため。

超簡単な解説：家族とのコミュニケーションを重視する理由は、家族支援と本人の権利擁護を両立させる必要があるため。

Q027 連携 | 4択 | 応用

問題

Cさんはチーム内コミュニケーションに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 本人の訴えを受け止め、申し送りでは観察事実と対応結果を分けて伝える。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、申し送りでは観察事実と対応結果を分けて伝える。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、チーム内コミュニケーションの観点から本人中心に対応する。

Q028 連携 | 4択 | 標準

問題

ICTを用いた情報共有の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- C. 入力内容は客観的にし、個人情報の閲覧権限に注意する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：ICTを用いた情報共有では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q029 基本技術 | 4択 | 基礎

問題

明確な言葉かけに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q030 基本技術 | 4択 | 応用

問題

ペーシングを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q031 支援技術 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、リフレーミングの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 聞こえにくさに配慮し、視覚情報や環境調整を行うこと。
- B. 理解しやすい短い言葉と安心できる態度で関わること。
- C. 職員間で事実、判断、対応を正確に共有すること。
- D. 物事の見方を変え、強みや可能性に目を向ける関わり。

答え・解説

正答：D. 物事の見方を変え、強みや可能性に目を向ける関わり。

超簡単な解説：リフレーミングは、物事の見方を変え、強みや可能性に目を向ける関わり。

Q032 面接技術 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、要約を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 申し送りでは観察事実と対応結果を分けて伝える。
- C. 『つまり、夜間のトイレが不安なのですね』と確認する。
- D. 一度に多くを説明せず、目線を合わせて一つずつ伝える。

答え・解説

正答：C. 『つまり、夜間のトイレが不安なのですね』と確認する。

超簡単な解説：要約では、『つまり、夜間のトイレが不安なのですね』と確認する。この対応が適切である。

Q033 面接技術 | 4択 | 標準

問題

介護実践で明確化を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 記録は事故が起きた場合だけ作成すればよいため。
- B. 予測できない接触や移動は不安と危険につながるため。
- C. 家族支援と本人の権利擁護を両立させる必要があるため。
- D. 曖昧な情報のまま支援すると誤った対応につながるため。

答え・解説

正答：D. 曖昧な情報のまま支援すると誤った対応につながるため。

超簡単な解説：明確化を重視する理由は、曖昧な情報のまま支援すると誤った対応につながるため。

Q034 面接技術 | 4択 | 応用

問題

Dさんは反映に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人の訴えを受け止め、『退院後の生活が心配なのですね』と感情を返す。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、『退院後の生活が心配なのですね』と感情を返す。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、反映の観点から本人中心に対応する。

Q035 障害特性 | 4択 | 標準

問題

失語症への対応の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 急がせず、はい・いいえで答えられる質問や文字盤を活用する。

答え・解説

正答：A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：失語症への対応では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q036 障害特性 | 4択 | 標準

問題

難聴への対応に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q037 障害特性 | 4択 | 基礎

問題

視覚障害への対応に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q038 認知症 | 4択 | 応用

問題

認知症の人への声かけを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q039 多文化 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、外国人利用者への配慮の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 言語・文化・宗教・生活習慣の違いを尊重して意思疎通を図ること。
- B. 物事の見方を変え、強みや可能性に目を向ける関わり。
- C. 電子記録や連絡ツールを活用し、必要な情報を適切に共有すること。
- D. 理解しやすい短い言葉と安心できる態度で関わること。

答え・解説

正答：A. 言語・文化・宗教・生活習慣の違いを尊重して意思疎通を図ること。

超簡単な解説：外国人利用者への配慮は、言語・文化・宗教・生活習慣の違いを尊重して意思疎通を図ること。

Q040 連携 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、家族とのコミュニケーションを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 入力内容は客観的にし、個人情報の閲覧権限に注意する。
- C. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- D. 家族の訴えを記録し、本人の意向も確認してチームで共有する。

答え・解説

正答：D. 家族の訴えを記録し、本人の意向も確認してチームで共有する。

超簡単な解説：家族とのコミュニケーションでは、家族の訴えを記録し、本人の意向も確認してチームで共有する。この対応が適切である。

Q041 連携 | 4択 | 標準

問題

介護実践でチーム内コミュニケーションを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 情報の誤解は支援の不一致や事故につながるため。
- B. 曖昧な指示は混乱や事故につながるため。
- C. 聞き取りにくさは誤解や孤立につながるため。
- D. 介護者の作業時間を短縮することが、常に最優先になるため。

答え・解説

正答：A. 情報の誤解は支援の不一致や事故につながるため。

超簡単な解説：チーム内コミュニケーションを重視する理由は、情報の誤解は支援の不一致や事故につながるため。

Q042 連携 | 4択 | 応用

問題

FさんはICTを用いた情報共有に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人の訴えを受け止め、入力内容は客観的にし、個人情報の閲覧権限に注意する。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、入力内容は客観的にし、個人情報の閲覧権限に注意する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、ICTを用いた情報共有の観点から本人中心に対応する。

Q043 基本技術 | 4択 | 標準

問題

明確な言葉かけに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q044 基本技術 | 4択 | 基礎

問題

ペーシングに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q045 支援技術 | 4択 | 応用

問題

リフレーミングを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q046 面接技術 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、要約の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 見えにくさに配慮し、声かけ、環境説明、触覚情報を活用すること。
- B. 相手の話の要点を整理して返すこと。
- C. 曖昧な発言を具体的に確認し、意味をはっきりさせること。
- D. 電子記録や連絡ツールを活用し、必要な情報を適切に共有すること。

答え・解説

正答：B. 相手の話の要点を整理して返すこと。

超簡単な解説：要約は、相手の話の要点を整理して返すこと。

Q047 面接技術 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、明確化を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 入力内容は客観的にし、個人情報の閲覧権限に注意する。
- B. 『退院後の生活が心配なのですね』と感情を返す。
- C. 『痛い』と言われたら、部位・程度・いつからかを確認する。
- D. 急がせず、はい・いいえで答えられる質問や文字盤を活用する。

答え・解説

正答：C. 『痛い』と言われたら、部位・程度・いつからかを確認する。

超簡単な解説：明確化では、『痛い』と言われたら、部位・程度・いつからかを確認する。この対応が適切である。

Q048 面接技術 | 4択 | 標準

問題

介護実践で反映を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 家族の希望は常に本人の意思より優先されるため。
- B. 家族支援と本人の権利擁護を両立させる必要があるため。
- C. 相手が自分の感情を整理しやすくなるため。
- D. 情報の誤解は支援の不一致や事故につながるため。

答え・解説

正答：C. 相手が自分の感情を整理しやすくなるため。

超簡単な解説：反映を重視する理由は、相手が自分の感情を整理しやすくなるため。

Q049 障害特性 | 4択 | 応用

問題

Aさんは失語症への対応に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 本人の訴えを受け止め、急がせず、はい・いいえで答えられる質問や文字盤を活用する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、急がせず、はい・いいえで答えられる質問や文字盤を活用する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、失語症への対応の観点から本人中心に対応する。

Q050 障害特性 | 4択 | 標準

問題

難聴への対応の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 正面から口元を見せ、周囲の騒音を減らして話す。

答え・解説

正答：C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：難聴への対応では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q051 障害特性 | 4択 | 標準

問題

視覚障害への対応に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q052 認知症 | 4択 | 基礎

問題

認知症の人への声かけに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q053 多文化 | 4択 | 応用

問題

外国人利用者への配慮を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 計画は職員の作業負担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q054 連携 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、家族とのコミュニケーションの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 家族の不安を受け止めつつ、本人の意思と個人情報保護にも配慮すること。
- B. 見えにくさに配慮し、声かけ、環境説明、触覚情報を活用すること。
- C. 聞こえにくさに配慮し、視覚情報や環境調整を行うこと。
- D. 電子記録や連絡ツールを活用し、必要な情報を適切に共有すること。

答え・解説

正答：A. 家族の不安を受け止めつつ、本人の意思と個人情報保護にも配慮すること。

超簡単な解説：家族とのコミュニケーションは、家族の不安を受け止めつつ、本人の意思と個人情報保護にも配慮すること。

Q055 連携 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、チーム内コミュニケーションを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- C. 申し送りでは観察事実と対応結果を分けて伝える。
- D. 急がせず、はい・いいえで答えられる質問や文字盤を活用する。

答え・解説

正答：C. 申し送りでは観察事実と対応結果を分けて伝える。

超簡単な解説：チーム内コミュニケーションでは、申し送りでは観察事実と対応結果を分けて伝える。この対応が適切である。

Q056 連携 | 4択 | 標準

問題

介護実践でICTを用いた情報共有を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人が不安を訴えても、支援計画を変更してはならないため。
- B. 相手が自分の感情を整理しやすくなるため。
- C. 情報の誤解は支援の不一致や事故につながるため。
- D. 効率化と情報保護を両立する必要があるため。

答え・解説

正答：D. 効率化と情報保護を両立する必要があるため。

超簡単な解説：ICTを用いた情報共有を重視する理由は、効率化と情報保護を両立する必要があるため。

Q057 基本技術 | 4択 | 標準

問題

明確な言葉かけの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- C. 『こちらに足を一歩出しましょう』のように具体的に伝える。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：明確な言葉かけでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q058 基本技術 | 4択 | 標準

問題

ベッシングに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q059 支援技術 | 4択 | 基礎

問題

リフレーミングに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q060 面接技術 | 4択 | 応用

問題

要約を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業分だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。

答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q061 面接技術 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、明確化の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 曖昧な発言を具体的に確認し、意味をはっきりさせること。
- B. 短く具体的に、相手が理解しやすい表現を使うこと。
- C. 言語・文化・宗教・生活習慣の違いを尊重して意思疎通を図ること。
- D. 聞こえにくさに配慮し、視覚情報や環境調整を行うこと。

答え・解説

正答：A. 曖昧な発言を具体的に確認し、意味をはっきりさせること。

超簡単な解説：明確化は、曖昧な発言を具体的に確認し、意味をはっきりさせること。

Q062 面接技術 | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、反映を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 『退院後の生活が心配なのですね』と感情を返す。
- B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- C. 正面から口元を見せ、周囲の騒音を減らして話す。
- D. 家族の訴えを記録し、本人の意向も確認してチームで共有する。

答え・解説

正答：A. 『退院後の生活が心配なのですね』と感情を返す。

超簡単な解説：反映では、『退院後の生活が心配なのですね』と感情を返す。この対応が適切である。

Q063 障害特性 | 4択 | 標準

問題

介護実践で失語症への対応を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 伝えたい内容があるのに表出しにくい場合があるため。
- B. 記録は事故が起きた場合だけ作成すればよいため。
- C. 家族の希望は常に本人の意思より優先されるため。
- D. 効率化と情報保護を両立する必要があるため。

答え・解説

正答：A. 伝えたい内容があるのに表出しにくい場合があるため。

超簡単な解説：失語症への対応を重視する理由は、伝えたい内容があるのに表出しにくい場合があるため。

Q064 障害特性 | 4択 | 応用

問題

Dさんは難聴への対応に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人の訴えを受け止め、正面から口元を見せ、周囲の騒音を減らして話す。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、正面から口元を見せ、周囲の騒音を減らして話す。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、難聴への対応の観点から本人中心に対応する。

Q065 障害特性 | 4択 | 標準

問題

視覚障害への対応の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 介助前に名乗り、周囲の状況や移動先を具体的に説明する。
- B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：視覚障害への対応では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q066 認知症 | 4択 | 標準

問題

認知症の人への声かけに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q067 多文化 | 4択 | 基礎

問題

外国人利用者への配慮に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q068 連携 | 4択 | 応用

問題

家族とのコミュニケーションを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q069 連携 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、チーム内コミュニケーションの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 職員間で事実、判断、対応を正確に共有すること。
- B. 理解しやすい短い言葉と安心できる態度で関わること。
- C. 電子記録や連絡ツールを活用し、必要な情報を適切に共有すること。
- D. 相手の感情や考えを支援者の言葉で返し、理解を示すこと。

答え・解説

正答：A. 職員間で事実、判断、対応を正確に共有すること。

超簡単な解説：チーム内コミュニケーションは、職員間で事実、判断、対応を正確に共有すること。

Q070 連携 | 4択 | 標準

問題

施設入所中の利用者で、ICTを用いた情報共有を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 入力内容は客観的にし、個人情報の閲覧権限に注意する。
- B. 申し送りでは観察事実と対応結果を分けて伝える。
- C. 『痛い』と言われたら、部位・程度・いつからかを確認する。
- D. やさしい日本語、絵、翻訳ツールを使い、理解を確認する。

答え・解説

正答：A. 入力内容は客観的にし、個人情報の閲覧権限に注意する。

超簡単な解説：ICTを用いた情報共有では、入力内容は客観的にし、個人情報の閲覧権限に注意する。この対応が適切である。

Q071 基本技術 | 4択 | 応用

問題

Eさんは明確な言葉かけに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 本人の訴えを受け止め、『こちらに足を一歩出しましょう』のように具体的に伝える。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、『こちらに足を一歩出しましょう』のように具体的に伝える。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、明確な言葉かけの観点から本人中心に対応する。

Q072 基本技術 | 4択 | 標準

問題

ペーシングの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 返答に時間がかかる人には、急かさず待つ。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：ペーシングでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q073 支援技術 | 4択 | 標準

問題

リフレーミングに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q074 面接技術 | 4択 | 基礎

問題

要約に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q075 面接技術 | 4択 | 応用

問題

明確化を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q076 面接技術 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、反映の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 物事の見方を変え、強みや可能性に目を向ける関わり。
- B. 理解しやすい短い言葉と安心できる態度で関わること。
- C. 相手の感情や考えを支援者の言葉で返し、理解を示すこと。
- D. 家族の不安を受け止めつつ、本人の意思と個人情報保護にも配慮すること。

答え・解説

正答：C. 相手の感情や考えを支援者の言葉で返し、理解を示すこと。

超簡単な解説：反映は、相手の感情や考えを支援者の言葉で返し、理解を示すこと。

Q077 障害特性 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、失語症への対応を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 『こちらに足を一步出しましょう』のように具体的に伝える。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 急がせず、はい・いいえで答えられる質問や文字盤を活用する。

答え・解説

正答：D. 急がせず、はい・いいえで答えられる質問や文字盤を活用する。

超簡単な解説：失語症への対応では、急がせず、はい・いいえで答えられる質問や文字盤を活用する。この対応が適切である。

Q078 障害特性 | 4択 | 標準

問題

介護実践で難聴への対応を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 聞き取りにくさは誤解や孤立につながるため。
- B. 記録は事故が起きた場合だけ作成すればよいから。
- C. 効率化と情報保護を両立するため。
- D. 予測できない接触や移動は不安と危険につながるため。

答え・解説

正答：A. 聞き取りにくさは誤解や孤立につながるため。

超簡単な解説：難聴への対応を重視する理由は、聞き取りにくさは誤解や孤立につながるため。

Q079 障害特性 | 4択 | 応用

問題

Aさんは視覚障害への対応に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 本人の訴えを受け止め、介助前に名乗り、周囲の状況や移動先を具体的に説明する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、介助前に名乗り、周囲の状況や移動先を具体的に説明する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、視覚障害への対応の観点から本人中心に対応する。

Q080 認知症 | 4択 | 標準

問題

認知症の人への声かけの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 一度に多くを説明せず、目線を合わせて一つずつ伝える。

答え・解説

正答：A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：認知症の人への声かけでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q081 多文化 | 4択 | 標準

問題

外国人利用者への配慮に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q082 連携 | 4択 | 基礎

問題

家族とのコミュニケーションに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q083 連携 | 4択 | 応用

問題

チーム内コミュニケーションを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q084 連携 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、ICTを用いた情報共有の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 電子記録や連絡ツールを活用し、必要な情報を適切に共有すること。
- B. 言語・文化・宗教・生活習慣の違いを尊重して意思疎通を図ること。
- C. 職員間で事実、判断、対応を正確に共有すること。
- D. 家族の不安を受け止めつつ、本人の意思と個人情報保護にも配慮すること。

答え・解説

正答：A. 電子記録や連絡ツールを活用し、必要な情報を適切に共有すること。

超簡単な解説：ICTを用いた情報共有は、電子記録や連絡ツールを活用し、必要な情報を適切に共有すること。

Q085 基本技術 | 4択 | 標準

問題

介護実践で明確な言葉かけを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 理解のずれを防ぎ、話を整理できるため。
- B. 相手のペースを尊重することで安心して意思表示しやすくなるため。
- C. 曖昧な指示は混乱や事故につながるため。
- D. 否定的な自己認識を和らげ、意欲を支えられるため。

答え・解説

正答：C. 曖昧な指示は混乱や事故につながるため。

超簡単な解説：明確な言葉かけを重視する理由は、曖昧な指示は混乱や事故につながるため。

Q086 基本技術 | 4択 | 応用

問題

Bさんはペースングに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 本人の訴えを受け止め、返答に時間がかかる人には、急かさず待つ。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、返答に時間がかかる人には、急かさず待つ。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、ペースングの観点から本人中心に対応する。

Q087 支援技術 | 4択 | 標準

問題

リフレーミングの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法が続ける。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 『時間がかかる』を『丁寧に確認できている』と捉え直して伝える。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法が続ける。

超簡単な解説：リフレーミングでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q088 面接技術 | 4択 | 標準

問題

要約に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q089 面接技術 | 4択 | 基礎

問題

明確化に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけが続ける。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q090 面接技術 | 4択 | 応用

問題

反映を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業負担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。

答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q091 障害特性 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、失語症への対応の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 電子記録や連絡ツールを活用し、必要な情報を適切に共有すること。
- B. 短く具体的で、相手が理解しやすい表現を使うこと。
- C. 曖昧な発言を具体的に確認し、意味をはっきりさせること。
- D. 言語理解や表出に障害がある人に、絵・文字・ジェスチャー等を組み合わせて支援すること。

答え・解説

正答：D. 言語理解や表出に障害がある人に、絵・文字・ジェスチャー等を組み合わせて支援すること。

超簡単な解説：失語症への対応は、言語理解や表出に障害がある人に、絵・文字・ジェスチャー等を組み合わせて支援すること。

Q092 障害特性 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、難聴への対応を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 正面から口元を見せ、周囲の騒音を減らして話す。
- B. 『こちらに足を一歩出しましょう』のように具体的に伝える。
- C. やさしい日本語、絵、翻訳ツールを使い、理解を確認する。
- D. 『時間がかかる』を『丁寧に確認できている』と捉え直して伝える。

答え・解説

正答：A. 正面から口元を見せ、周囲の騒音を減らして話す。

超簡単な解説：難聴への対応では、正面から口元を見せ、周囲の騒音を減らして話す。この対応が適切である。

Q093 障害特性 | 4択 | 標準

問題

介護実践で視覚障害への対応を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 情報の誤解は支援の不一致や事故につながるため。
- B. 記録は事故が起きた場合だけ作成すればよいため。
- C. 否定的な自己認識を和らげ、意欲を支えられるため。
- D. 予測できない接触や移動は不安と危険につながるため。

答え・解説

正答：D. 予測できない接触や移動は不安と危険につながるため。

超簡単な解説：視覚障害への対応を重視する理由は、予測できない接触や移動は不安と危険につながるため。

Q094 認知症 | 4択 | 応用

問題

Dさんは認知症の人への声かけに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 本人の訴えを受け止め、一度に多くを説明せず、目線を合わせて一つずつ伝える。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、一度に多くを説明せず、目線を合わせて一つずつ伝える。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、認知症の人への声かけの観点から本人中心に対応する。

Q095 多文化 | 4択 | 標準

問題

外国人利用者への配慮の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- D. やさしい日本語、絵、翻訳ツールを使い、理解を確認する。

答え・解説

正答：C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：外国人利用者への配慮では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q096 連携 | 4択 | 標準

問題

家族とのコミュニケーションに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q097 連携 | 4択 | 基礎

問題

チーム内コミュニケーションに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q098 連携 | 4択 | 応用

問題

ICTを用いた情報共有を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q099 基本技術 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、明確な言葉かけを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 『こちらに足を一步出しましょう』のように具体的に伝える。
- B. やさしい日本語、絵、翻訳ツールを使い、理解を確認する。
- C. 申し送りでは観察事実と対応結果を分けて伝える。
- D. 介助前に名乗り、周囲の状況や移動先を具体的に説明する。

答え・解説

正答：A. 『こちらに足を一步出しましょう』のように具体的に伝える。

超簡単な解説：明確な言葉かけでは、『こちらに足を一步出しましょう』のように具体的に伝える。この対応が適切である。

Q100 基本技術 | 4択 | 標準

問題

介護実践でペーシングを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 安全確認は医療職だけが行うため。
- B. 相手のペースを尊重することで安心して意思表示しやすくなるため。
- C. 本人が不安を訴えても、支援計画を変更してはならないため。
- D. 曖昧な情報のまま支援すると誤った対応につながるため。

答え・解説

正答：B. 相手のペースを尊重することで安心して意思表示しやすくなるため。

超簡単な解説：ペーシングを重視する理由は、相手のペースを尊重することで安心して意思表示しやすくなるため。